

**【参考】より多様な方々に受験いただける試験制度を目指した最近の取組**

**令和6年度**

- 大卒程度（行政A・技術系職種、総合土木）試験の年齢要件（年齢の上限）を見直し

試験区分	年齢要件 [2023年度]	年齢要件 [2024年度]
行政A [一般方式]	22歳～35歳	22歳～ <b>29歳</b>
行政B [SPI方式]	22歳～29歳	22歳～29歳
技術系職種		
薬剤師	24歳～35歳	24歳～ <b>31歳</b>
保健師	21歳～35歳	21歳～ <b>29歳</b>
産業技術、電機総合、建築、 林業、農業	20歳～35歳	20歳～ <b>29歳</b>
デジタル、社会福祉、心理、 化学、管理栄養士	22歳～35歳	22歳～ <b>29歳</b>
総合土木	20歳～35歳	20歳～ <b>29歳</b>

※年齢要件の見直しに伴う経過措置として、2024年度実施試験に限り、「30歳～35歳かつ民間企業等における職務経歴が5年に満たない方」にあつては大卒程度試験（行政A・技術系職種、総合土木）の受験が可能。

**令和5年度**

- 大卒程度（総合土木）の試験制度を全面的に改正

県職員採用試験（大学卒業程度）の総合土木区分について、受験者の負担軽減、民間企業等との並行受験の容易化を図るため、試験内容を全面改正

	2022年度	2023年度
第1次試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SPI3（基礎能力検査）</li> <li>● 専門試験（択一）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門性アピール試験（記述式）</li> <li>● 口述試験（1回）</li> </ul>
第2次試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 論文試験</li> <li>● 口述試験（2回）</li> </ul>	

- 大卒程度（技術系職種）のSPI3（基礎能力検査）を廃止し、口述試験を1回に

県職員採用試験（大学卒業程度）の技術系職種（※総合土木を除く）について、受験者の負担軽減、を図るため、SPI3を廃止し、口述試験を1回に変更

- 高卒程度（技術系職種）の教養試験を廃止し、口述試験を1回に

県職員採用試験（高校卒業程度）の技術系職種について、受験者の負担軽減を図るため、教養試験を廃止し、口述試験を1回に変更

## 令和4年度

### ■ 行政B[SPI方式]の第1次試験をWebで実施

県職員採用試験（大学卒業程度）の行政B[SPI方式]（秋季チャンス含む）区分の第1次試験を、筆記試験からWeb実施に変更。

### ■ デジタル区分の第1次試験に専門試験を導入

令和3年9月に新たに設けた県職員採用試験（大学卒業程度）デジタル区分について、専門的な知識を問う専門試験を導入。

## 令和3年度

### ■ 技術系試験区分の受験資格の拡大

大学卒業程度区分の一部の技術系試験区分において、高等専門学校・短期大学を卒業見込みの者も受験できるよう、受験資格を拡大。（下記下線部を追加）

対象区分	電気、機械、農業、林業、総合土木、建築
受験資格	・22歳～35歳 ・22歳未満で、大学を卒業又は卒業見込みの者（いわゆる飛び級） ・ <u>22歳未満で高等専門学校・短期大学を卒業又は卒業見込みの者及びこれらと同等の資格があると認められる者※</u>

※「これらと同等の資格があると認められる者」は、大学編入の資格が得られる修業年限2年以上の専修学校、個別の法律により都道府県が設置する修業年限2年以上の大学校（農業大学校、林業大学校、工科短期大学校）等を卒業又は卒業見込みの者をいう

### ■ デジタル区分創設（2021年9月実施分の試験等から募集を開始）

行政機関におけるデジタル人材を確保し、DX化を推進していくため、大学卒業程度及び社会人経験者採用選考において、「デジタル」区分を創設。

デジタル区分受験資格

試験区分	もとめる経験・資格等
大学卒業程度採用試験	(1) 採用年度末年齢 22歳～29歳以下 (2) 情報系の専門知識の知見を持つ人材（論文及び面接により確認）
社会人採用選考	(1) 採用年度末年齢 59歳以下の者 (2) 民間企業等における情報通信技術部門等での職務経験 （大卒5年、短大卒7年、高卒9年、その他12年）

## 令和2年度

### ■ SPI3（基礎能力検査）の導入

大学卒業程度試験区分の行政B[SPI方式]及び技術系職種、並びに県職員採用選考（社会人経験者）の第1次試験（考査）において、従来の教養試験等に替え、多くの民間企業の採用で使用されているSPI3（基礎能力検査）を導入

【2019年度まで】

試験・選考区分		試験方法
県職員 採用試験 (大卒程度)	行政A	教養試験・専門試験
	行政B	基礎能力検査・ 自己アピール試験
	技術系	教養試験・専門試験
県職員採用選考 (社会人経験者)		教養考査・ 自己アピール考査

【2020年度から】

試験・選考区分		試験方法
県職員 採用試験 (大卒程度)	行政A [一般方式]	(変更なし)
	行政B [SPI方式]	SPI3・ 自己アピール試験
	技術系	SPI3・ 専門試験
県職員採用選考 (社会人経験者)		SPI3・ 自己アピール考査